



長野県 PR キャラクター「アルクマ」
©長野県アルクマ

ANPI NEWS

アンピ・ニュース



公益財団法人長野県国際化協会
Association of Nagano Pref.
For Internationalization
2024年 秋号

外国籍児童生徒等の日本語教育の充実、多文化共生教育などについて提言

- ◎10月15日(火)13時から長野県教育委員会教育長室で、直江崇県民文化部長と武田育夫教育長へ提言書を手渡しました。
これは、現在長野県が少子化・人口減少対策戦略案の策定に取り組む中で、「外国人県民が暮らしやすく働きやすい環境をつくること」を柱の一つに掲げていることから、一層の日本語教育の充実、外国人児童生徒の学習支援、多文化共生教育の推進などの多文化共生施策について、重点的に取組まれるよう、長野県及び長野県教育委員会へ提言を行ったものです。
- ◎マキナリー理事長から、ANPI 学習支援コーディネーターによる就学支援の実情と現場の混乱などを伝え、子どもたちが長野県で進学・就職し活躍できる社会に向けて、①情報・課題共有に向けた「場づくり」、②長野県教育委員会としての基本指針の策定、③多文化共生教育の推進について提言を行いました。
- ◎一方、神吉座長(長野県地域日本語教育の体制づくり事業総合調整会議座長)からは、①地域日本語教育の積極的な事業展開、②文部科学省の補助金活用による外国籍児童生徒等への支援の充実、③日本語教育専門家の処遇改善などについて提言を行いました。



進学ガイダンス in ながの 2024 後半 8/25 箕輪会場、9/8 飯田会場で開催

- ◎高校入試の仕組みや学校生活、費用など、高校へ進学するために知っておきたいことを説明する進学ガイダンス in ながの 2024、今年度は県下4会場で開催することができました。
多くの関係者の皆様にご協力いただき、ありがとうございました。
ガイダンス資料は各教育委員会、学校へデータ送付してありますが、必要な場合は事務局へ問合せをお願いします。



箕輪会場

飯田会場

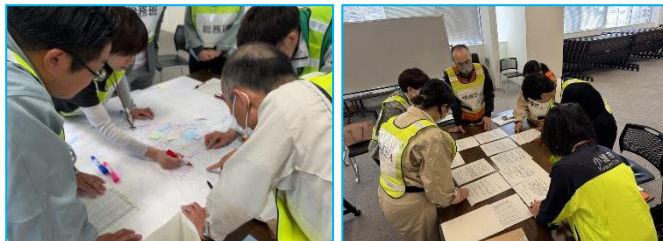
令和6年度災害多言語支援センター設置運営訓練と防災講座を開催

◎10月20日(日)小諸市において、長野県総合防災訓練の一環で災害多言語支援センター設置運営訓練と外国人県民向けの防災講座を開催しました。

1. 災害多言語支援センター設置運営訓練

「災害多言語支援センター」は、大地震・大雨などの災害が発生した際に、日本語が判らず行政機関等が発信する情報を享受できない、そもそも地震等の災害経験が少ないなどで不安を抱えている外国人住民を支援するために、多言語で災害に係る情報を提供し支援する仕組みで、1995年に発生した阪神・淡路大震災が始まりと言われています。

長野県、小諸市、県及び小諸市社協、次期開催予定の岡谷市、ANPI登録の通訳翻訳ボランティアが参加し、導入の講義を受けてから現地総務班、現地及び遠隔地の情報班(現地)を想定し、掲示や配信する情報の整理と多言語化に取り組みました。



2. 外国人県民のための防災講座

防災講座では災害時の行動や避難所での過ごし方、ARゴーグルを使った災害状況の疑似体験を通じて、大水の危険や地震を知らない国の方も多く、wi-fiが使えない環境に対する不安など感想や意見が寄せられました。



「森林セラピー体験会」に参加しました

◎10/14(日)信濃町、しなの町 Woods-Life Community さんのご厚意により ANPI の通訳翻訳ボランティアの皆さんを対象に、「森林セラピー体験会」を開催いただき快晴の休日を過ごしました。信濃町では、C.W. ニコル氏の提案により「癒しの森」を中心としたまちづくりに取組み 20 数年、個人のお客様から企業・学校、インバウンド需要など多面的に取り組まれている中で、事業に興味のある通訳者の方に森林メディカルトレーナーとしてご活躍いただきたいとの思いで、今回の体験会となりました。

